

公益財団法人 ウェスレー財団
2018年度(2018年4月～2019年3月) 事業報告

(A) 総務事項

1. 理事会・評議員会の開催は以下の通り開催され、審議事項はすべて承認された。

第1回理事会(定例)	2018年5月31日	2017年度事業・決算報告、 評議員選定委員会
2回理事会(定例)	6月29日	理事の職務分担
3回理事会(臨時)	11月7日	拡張事業計画
4回理事会(臨時)	2019年1月24日	職員の処遇
5回理事会(臨時)	2月5日	拡張事業計画、職員の処遇
6回理事会(定例)	3月6日	2019年度事業計画・予算案

定例評議員会 2018年6月29日 2017年度事業・決算報告

2. 内閣府に以下の報告を行い、いずれも審査は完了した。
- ① 2017年度事業報告等 (2018年6月29日)
 - ② 2019年度事業計画等 (2019年3月29日)
3. 2018年6月29日に開催された評議員会の承認を得て、井田隆司氏が業務執行理事として着任し、仲摩信行元業務執行理事は、特別顧問として主として資金運用など財務事項を中心に助言を行った。
4. 現在も青山5丁目住宅に居住している2家族に対する提訴は、裁判官による調停が行われ、現在立ち退き条件の交渉は進行中である。
5. 調停が終わりに近づいていることから、南青山5丁目の土地有効利用について具体的に検討していくことが必要になった。このために臨時理事会3回(11月7日、1月24日、2月5日)を持ち、プロジェクトの拡充計画について話し合うと共に、理事と評議員にも開かれた懇談会(1月9日)を開いた。

6. 事務局

- ① 2018年度の職員体制は、フルタイム職員3名およびパートタイム1名の計4名であった。
- ② 4月1日より事務局長として働いた金澤真実職員の雇用契約(2017年4月1日～2019年3月31日)は、2019年3月31日を持って終了した。
- ③ フルタイム職員及び常勤役員は、月1回のスタッフミーティングを持ち、デボーションと連絡調整を行った。

(B) 公益目的事業

1. ウェスレーセンター管理事業

ビル全体を管理する南青山パークハウス・ウェスレーセンター管理組合理事(副会長担当)として定期的に金澤事務局長が理事会に出席し、ビル全体の管理運営を行った。パークハウス・ウェスレーセンター合同の防災・防火訓練が7月3日に行われた。

(1) 事務所賃貸運営

昨年度に引き続き、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会、特定非営利活動法人東京英語いのちの電話 (TELL) 事務所への低廉な賃貸を行った。

(2) ゲスト・ルーム運営

- ① ウェスレーセンター4階 (402～403号室) を関係者のゲスト・ルームとして運営した。
- ② 4部屋 (404～407号室) は定期建物賃貸借契約で賃貸した。募集業務及び管理を株式会社ケン・コーポレーションに委託している。

(3) 会議室運営

- ① 昨年度に引き続き、201、204、205号室を貸会議室として運営した。NPO、公益団体などの利用には低廉な料金を設定し、便宜を図っている。

2. 国際プロジェクト事業

2018年は、国際プログラム9及び、国内プログラム5の計14プログラム（ウェスレー財団主催10、共催及び協力4）並びに支援金プログラムを実施した。国際、国内プログラムの参加者は、大人、男女など合わせて合計510人（職員等を除く）であった。なお事業計画にあった1つのプログラムは受入れ団体の都合により実施されなかった。2018年度の特筆すべきことは、国内プログラムの開催である。支援金プログラムは19団体に合計6,998,474円を交付した。

(1) 国際プログラム

① クリスマン女性国際会議：Christian Women Assembly in USA 5/17-5/22

参加者数：約5000名、うち日本から11名（大学生7名、教師1名、スタッフ3名）

4年に1度開かれる合同メソジスト女性局主催の国際会議に参加した。講演やワークショップを通して、女性のエンパワメントやリーダーシップを学ぶことに加え、全世界のクリスマン女性(5000人)とともに信仰と交流を深めることを目的とした。今回は合同メソジスト女性局が世界に宣教師を派遣し、特に女子教育と社会福祉に貢献してきた150年の歴史を振り返ることが会議のテーマとしていることから、この歴史に関わる3大学の女学生7名と教員1名（青山学院大学/青山学院女子短期大学・福岡女学院大学・活水女子大学）を日本から派遣し、各学校の歴史の学びと同時に、合同メソジスト女性局の社会への働きと、他国から集まる学生たちとの交流を深める機会となった。

② サマーキャンプ in アメリカ：Youth Summer Camp in USA 7/21-7/30

参加者数：81名、うち日本から11名
（高校生女子6名、男子2名、教師1名、スタッフ2名）

合同メソジスト教会カリフォルニア教区が主催する高校生キャンプに参加した。キャンプに参加することにより、異文化体験を通して国際相互理解と交流を行なうことに加えて、英会話の実践、精神と身体の健全な成長を図ることを目的としている。今年のテーマは、“Stay Woke”。参加者は「アジア系アメリカ人」には多様な背景や文化があることを学ぶと同時に、キャンプでの生活や話し合い、取り組みを通じて社会的課題や対人関係の取り方、対話方法を学んだ。ウェスレー財団からは、6校8名の高校生相当の他、初めて日本の青年伝道に携わる教師1名を派遣した。

③ **沖縄で平和を考える研修：Peace Seminar in Okinawa 2/18-2/23**

参加者数：21名、うち日本から8名（参加者5名、インターン1名、スタッフ2名）

沖縄で、日本、韓国、フィリピンの20代の女性たちが、歴史、紛争、軍事、女性への暴力などの視点から考察や意見交換やフィールドトリップを行うことで、平和構築について考え、体感することを目的とした研修。多角的な視点から平和を考えるよい機会となった。講義や毎日の振返りのほか、自由時間や食事などでの交流を通して、異文化交流を行うことができ、参加者にとって将来の学びや国際的な視野の形成、新たなコミュニティーの形成に役立った。

④ **ワークスタディーツェンブ in the Philippines：Service Work Study Camp in the Philippines 3/5-3/11**

参加者数：12名（キャンパー女子7名、男子2名、インターン1名、スタッフ1名）

マニラ首都圏に隣接するリサール州サンマテオで、自然災害に強いコミュニティー作りのため活動するNPO Buklod Taoを訪問し、防災、災害リスク対策、地域に根差した活動を学び、活動拠点であるセンターの外壁作りの労働を地域の人々とともに実施した。またケソン市にあるバティス女性センター（人身取引被害女性やその子どもを支援する団体）を訪問し、日本で働く外国人労働者の抱える問題と女性に対する暴力の問題、また、アートセラピー体験を通しバティス女性センターの支援活動の一つを学んだ。また、マニラでの観光を通してフィリピンの貧富の格差、歴史と文化を学ぶ機会をもった。

⑤ **アジア女性のためのリーダーシップ研修（18-35歳）：**

Young Asian Women's Leadership Development in Hong Kong 3/26-3/31

参加者数：34名、うち日本から6名（参加者3名、インターン1名、スタッフ2名）

18~35歳までの女性を対象にしたリーダーシップ研修。香港で同時期に開催される第11回世界メソジスト教会、合同教会女性・東アジア地区会議（World Methodist and Uniting Church Women, East Asia Area）に合流した。特に今回は過去9年のリーダーシップ研修参加者を中心とした研修で、過去の研修が参加者にどのような影響を与えたのかを知ることも一目的として実施した。研修中には過去の参加者の多くがリーダーシップを発揮している様子を見ることができた。また、参加者には事前に女性に関わる社会的課題を調べ報告書にまとめることを課し、それを基に研修中に発表資料を作成し、若い女性達の声として、第11回EAAの場で発表をした。日本、韓国、インドネシア、カンボジア、シンガ

ポール、台湾、フィリピン、ベトナム、香港、マレーシアの計 10 カ国から参加があった。

⑥ 共催・協力プログラム

a. アジア地区で働く合同メソジスト教会宣教師たちのフォーラム：

Asia Area Missionary Gathering 4/21-4/26 (共催)

参加者数:65 名(うち日本から 12 名)

合同メソジスト教会がウェスレー財団との共催で行なったアジア地区ミッション活動フォーラム。アジアに派遣されている 41 名の宣教師とその家族がカンボジアのシナムリアップに集まり、それぞれが派遣されている場（カンボジア、日本、韓国、ベトナム、ラオス、フィリピン、フィジー、ネパール、台湾、中国、タイ）での働きの状況、課題、展望を共有し、学びあった。普段、孤立されやすい環境にあるが、この集まりは互いの励ましと、ネットワーク作りに貢献した。

b. シンガポールクリスチャン女性のためのリーダーシップセミナー：

Leadership Seminar for Singapore Christian Women 10/18-10/22 (協力)

参加者数:50 名

シンガポールクリスチャン女性の要請で、小海代表理事が、マレーシアの Johor Bahru で行われたリーダーシップセミナーの講師となり協力した。

c. マレーシアイバン族クリスチャン女性のためのリーダーシップセミナー：

Leadership Seminar for Iban Christian Women in Malaysia 10/26-10/29 (協力)

参加者数:200 名

マレーシア少数民族イバン族の教会女性たちのためのリーダーシップトレーニングのために、小海代表理事が講師として協力した。

d. カンボジアとベトナムでのミッション活動の学びとこれからの展望を考える会：**Mission Consultation in Asia 12/9-12/18 (協力)**

参加者数:30 名

この Consultation は合同メソジスト教会世界宣教局が主催した。アジアでのミッション活動に関係する団体、教会リーダーなどが集まり、アジアのミッション活動の現状、課題、協力の可能性を協議し合った。

(2) 国内プログラム事業

① サマーキャンプ in USA 2018 参加者報告会: Summer Camp Reunion 8/25

参加者数：15名（参加者13名、スタッフ2名）

今年の夏に行われた、ユース・サマーキャンプの参加者7名による報告会を行った。参加者同士がお互いの学びを発表し合い経験を共有した。また、来場者にとっては、参加者たちの内面的な成長とキャンプの意義を知る良い機会となった。

② ワークスタディーキャンプ in 北海道：

Service Work Camp in Hokkaido 9/3-9/7

参加者数：6名（参加者3名、インターン1名、スタッフ2名）

国内で行なわれた、初めてのワークキャンプであった。北海道帯広にあるアイヌコミュニティで、子どもたちの学習支援をするエテケカンパの会と、浦河にある精神障害者コミュニティ「べてるの家」での奉仕活動を通して、アイヌ民族の歴史と文化の学びと同時に、精神障害を抱える方たちへの支援に関して、「べてるの家」の働きを学ぶことを目的として行われた。「べてるの家」では当事者の人たちと一緒に作業活動への参加及びSST（ソーシャルスキル・トレーニング）への参加をし、人と人との関わり大切さを学んだ。9月6日早朝に地震が起こり、帯広でのエテケカンパの会で実施予定であった交流プログラム及び子どもたちへの補習授業の補助は中止されたが、芦澤事務局長よりアイヌの文化と歴史、生活館の活動などを学ぶことができた。

③ グローバルセミナー：Global Seminar 第1回 1/26、第2回 1/28、第3回 2/6

参加者数：計53名（参加者44名、インターン2名、スタッフ2名）

ウェスレー財団主催のセミナーを3回シリーズで行った。

第1回目「ともにカラフルなセカイを作る」～希望をもって日本に逃れて来た人たちと語る世界の課題～ NPO 法人 WELgee の協力で、難民当事者たちとの交流を持つワークショップ。参加者25名。

第2回目「ブラジルから来た Global Mission Fellow と語ろう」海外インターン Roberto Junior との交流。参加者11名。

第 3 回目「共に生きていくってなんだろう？」～違うのって素敵！国際協力編～ NPO 法人チャイルドファンド・ジャパンより松浦宏二東京事務局次長より、フィリピンを始め国際協力についての学び。この第 3 回目セミナーはフィリピンでのワークキャンプへの参加者のための事前研修を公開セミナーとして行った。参加者 17 名。

④ インターンシップ・プログラム：Young Adult Mission Internship Program

A. 国際インターンシップ・プログラム: International Internship

合同メソジスト教会世界宣教部による、若いクリスチャン（20～30 歳）を海外の様々な社会問題と取り組む NGO に派遣し、そこでの活動を通して国際関係、相互理解、リーダーシップを学ぶことを目的としたプログラムである。昨年度よりアジア学院へ派遣されているインターン、Roberto Junior(ブラジル)へのサポートを行うと同時に、このプログラムの広報を兼ねて、ウェスレーセンターでのセミナー(グローバルセミナー2/28)を開催した。

B. ウェスレー・インターンシップ・プログラム: Domestic Internship

リーダーシップ育成を目的に、ウェスレー財団でインターンシップを行なう機会を提供し、2 名のインターンを採用した。今年は、長期間のインターンシップ（10 月～3 月までの 6 ヶ月）において女性 1 名を過去の短期インターン経験者及びプログラム参加者から採用した。長期インターンシップでは、プログラム全体の動きを捉えながら、SNS 業務を任せることで SNS を通して参加者と繋がりをもつこと、広報拡大を図ることが出来た。ワークキャンプ in フィリピンに過去のワークキャンプ参加者から初めて男性のインターンを 1 名採用した。業務を任せることでインターン参加者のリーダーシップを発揮する機会に寄与することができた。今後も研修参加者がリーダーシップを発揮する機会として、各研修でのインターンの活用を継続するとともに、よりよいインターンシップの仕組みを策定したい。

⑤ プログラム報告会：Program Reports and Reunion 4/6

参加者数：23 名（プログラムから 17 名、インターン 2 名、スタッフ関係者 4 名）

2019 年 4 月に開催した 2018 年度の 4 つの国際・国内プログラム（北海道スタディワークキャンプ、沖縄で平和を考える研修、ワークキャンプ in フィリピン、女性のためのリーダーシップ研修 in 香港）の参加者、インターンによる報告会。各プログラムがグループごとに研修内容、学び、これからについて発表し

質疑応答の時間を持った。他のプログラムに参加した者同士の相互理解の場となっただけでなく、各プログラムの参加者が、互いに交流しネットワークを深める機会となった。

3. 支援金事業

2018年度支援金事業は21団体からの申請があり、2018年1月24日、2月8日及び3月2日に開催された支援金交付選考員会にて、19団体への交付が決定した。支援金交付額は、合計6,998,474円であった。

公益財団法人ウェスレー財団

平成 30 年度 事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業内容を補足する重要な事項」はない。

(以上)